

第7分科会

学校・家庭・地域社会の連携

【研究課題】 家庭・地域社会との連携により教育機能を高める学校づくり

【研究の視点①】 学校教育の理解を深める家庭・地域社会との連携の推進

〈研究発表〉 家庭・地域社会と連携して地域（和歌山）にこだわった学びを創る

和歌山県有田川町立八幡小学校 青石 儒幸

〈発表概要〉

学校教育を充実させるには、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしつつ、連携し協力することが重要である。具体的な連携の方法は地域の実情や学校規模、学校の課題などによってさまざまな形態や取組が考えられるが、連携を深めた教育活動を展開して子どもの生活や学びの質を高め、子どもの姿で確かな成果を示す信頼される学校づくりが求められている。

地域には、その地域ならではの、自然、人、ことやもの、歴史、伝統と文化などがあり、子どもの学びに有効な素材が数多くある。地域の素材を教材化するよさや、地域と連携して学習することのよさを大事に考えて、家庭・地域社会と連携して地域にこだわった学びを創ることは、子どもの学力の向上や豊かな人間性の育成に有効であり、「生きる力」をはぐくむことにつながるものと考え。こうした取組を学校教育の重要な柱の一つと考えて学校経営をすすめている校長の在り方や指導性を探る。